

令和7年度 第1回
鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ

2. 議 題

- (1) 令和6年度事業報告について …… 1
- (2) 令和7年度事業計画について …… 9
- (3) 新指定文化財候補について …… 11

日 時 令和7年5月21日(水)
午前 10時00分～

場 所 鳥栖市役所 3階大会議室3

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

鳥栖市文化財保護審議会委員名簿

任期 令和5年10月1日～令和7年9月30日

氏 名	専門分野	所属・現職
会 長 藤瀬 禎博	地域史	学識経験者（鳥栖郷土研究会 会長）
副会長 金子 信二	民俗芸能	学識経験者（佐賀県文化財保護審議会 委員）
宮島 敦子	中世史	学識経験者（佐賀大学名誉教授）
吉田 洋一	近世史	学識経験者（久留米大学文学部 教授）
大森 洋子	建 築	学識経験者（久留米工業大学 教授）
石山 勲	考 古	学識経験者（元九州歴史資料館 学芸課長 日本考古学協会会員）
重藤 輝行	考 古	学識経験者（佐賀大学芸術地域デザイン学部 教授）
黒田 達也	地域史	学識経験者（鳥栖市立鳥栖中学校教諭 佐賀県文化財パトロール員）
中島 しょう子	地域史	学識経験者（基山の歴史と文化を守る会 事務局 日本民俗学会会員）

1. 令和6年度事業報告

(1)調査

- ①98件の照会および発掘調査依頼が提出され、42件の確認調査を実施した。
- ②令和2年～令和5年にかけて行った勝尾城筑紫氏遺跡(牛原町・山浦町)重要遺跡確認調査の発掘調査報告書(鳥栖市文化財調査報告書第101集)と令和5年度の文化財事業の概要を記した「鳥栖市文化財年報2023年度版」を刊行した。
- ③立石開拓古墳群(立石町)の発掘調査を実施した。発掘調査は令和7年9月末まで実施の予定。
- ④文化資源充実事業を実施し、民具や考古遺物の調査、収集を行った。主なものとして軍事郵便関係、戦時下の絵葉書などであった。

(2)保護・管理

- ①指定文化財(国3件、県2件、市14件)等の管理を、所有者や地元団体に委託又は、補助を行い、保護に努めた。
- ②文化財防災啓発の一環として、1月12日に萱方町老松神社境内で消防訓練を行った。【写真A】
- ③史跡等の管理として赤坂古墳や剣塚古墳、田代太田古墳、安永田遺跡などの下草刈りなどを行った。
- ④ヒャーガンサン古墳と柚比梅坂遺跡の説明板の修繕を行った。
- ⑤装飾古墳の田代太田古墳とヒャーガンサン古墳で、目視による環境観察と温湿度の計測を行った。
- ⑥田代太田古墳内部の消毒を行ったほか、照明設備、入口鉄扉の取替えを行った。

(3)普及・啓発

- ①鳥栖歴史文化交流展示室を5月21日に開設し、同日にオープニングセレモニーを開催した。13人の来賓のほか、30人の参加があった。令和7年3月末時点で、11,724

人の来場があった。また、8月にオープン記念イベントとして、市内の小学生を対象とした「ミニ銅鐸づくり」を開催し、54名の参加があった。【写真B・C】

②鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座「鳥栖の集落と交通」全7回開講し、延べ182名の参加があった。また、中上級者向けの古文書を解説する講座「古文書講読会」、翻刻した古文書を読み解く「古文書を読む会」をそれぞれ21回開講し、294人と210人の参加があった。

③市民一般を対象に、市誌編纂のために収集した古文書をテキストにした古文書を解説する講座を21回開講し、合計294人の参加があった。

④勝尾城筑紫氏遺跡を核とする地域の歴史と文化財を活かしたまちづくりを市民と協働して目指す「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイドの育成を行った。

⑥268号機関車の一般公開を、九州鉄道OB会鳥栖支部と協働で3回行い、合計365名の見学があった。また、清掃作業を1回行った。【写真D】

⑦総合学習支援として市内7校(小学校6校、中学校1校)に出前授業を行い、914名の生徒が受講した。【写真E】

⑧町区や市民団体など4団体に対し、出前講座等の支援を行った。

⑨鳥栖市立図書館において『国史跡勝尾城筑紫氏遺跡 - よみがえる戦国時代の山城と城下町跡 -』の展示を行った。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

①史跡内の樹木伐採・下草刈り・倒木の処理を行った。

②遺跡見学会を春(4月21日雨天により中止)、秋(11月24日)は市制70周年記念事業として、葛籠城の見学の他、豊後大友宗麟鉄砲隊による火縄銃演武を行った。火縄銃演武に140名の見学があった。【写真F】

③市民活動団体九千部クラブと協働で「県民参加の森林づくり事業 - 山城の森づくり体験 -」、「さが緑の基金事業 - 森林保全作業の安全講習 -」を各3回実施し、合わせて97名の参加があった。【写真G】



写真 A：文化財防災訓練(萱方町老松神社)



写真 B：鳥栖歴史文化交流展示室

- オープニングセレモニー -



写真 C：ミニ銅鐸づくり



写真 D：268号機関車一般公開



写真 E：出前授業(若葉小学校)



写真 F：勝尾城筑紫氏遺跡見学会(秋)

- 市制施行 70 周年記念火縄銃演武 -



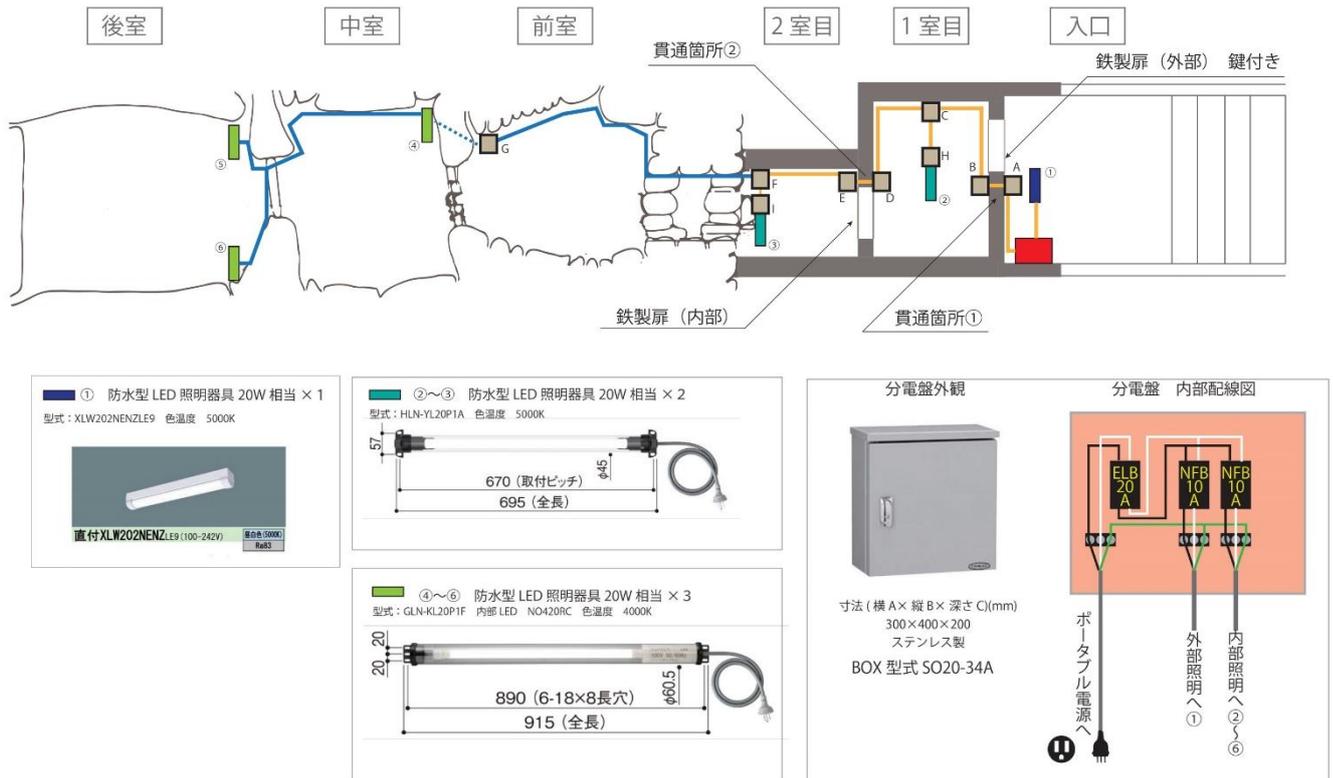
写真 G：県民参加の森林づくり事業



写真 H：勝尾城筑紫氏遺跡流量調査

④豪雨時に筑紫氏館跡に流れ込む流量と周辺地形を把握するため、流量調査を実施した。【写真 H】

田代太田古墳照明設備・鉄扉交換について



令和6年度確認調査一覧

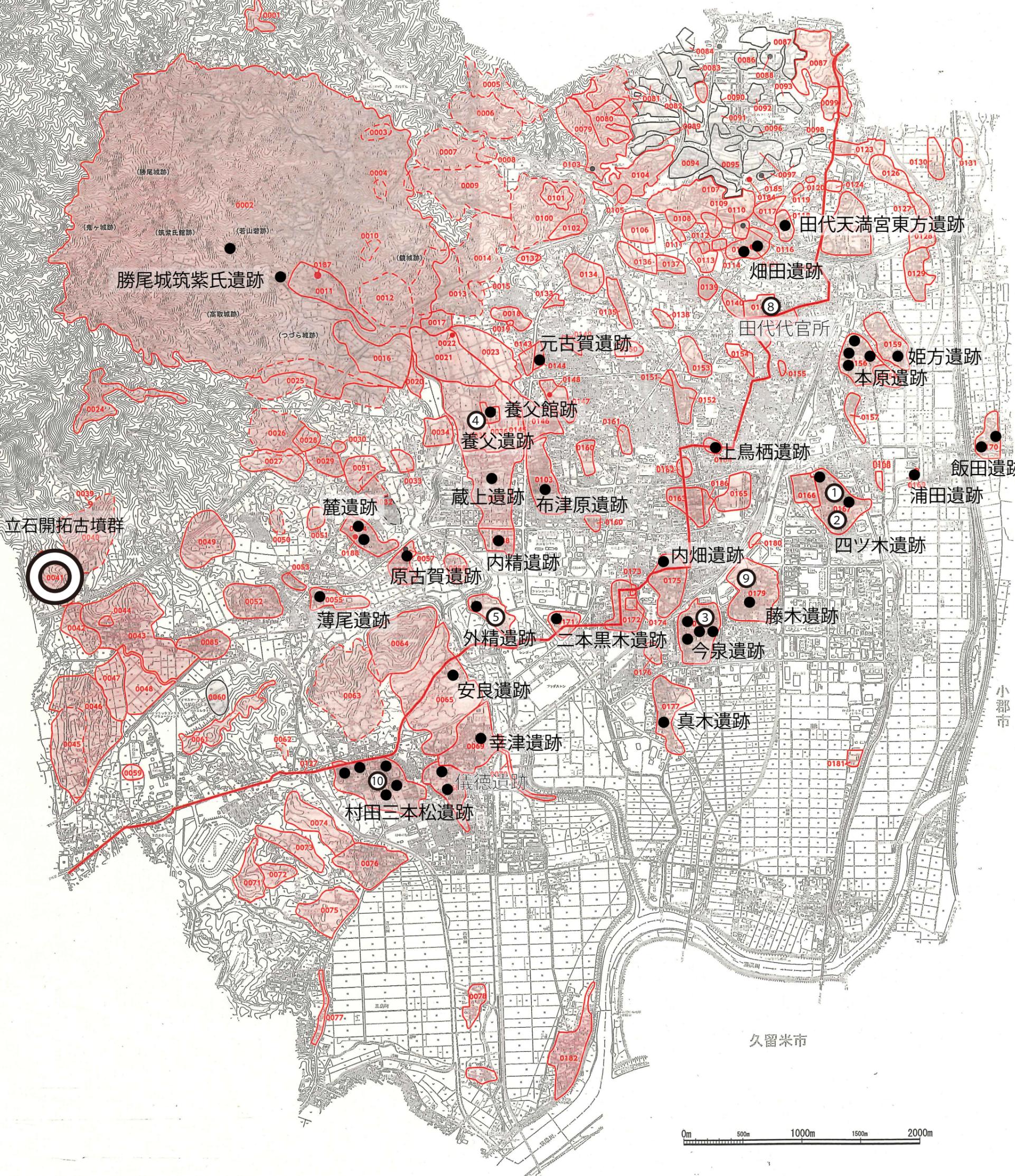
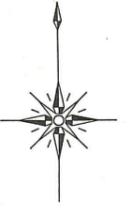
遺跡名	所在地	原因者	開発目的	開発面積 (㎡)	調査面積 (㎡)	対応	実施日	結果	備考
1 四ツ木遺跡	曾根崎町1329-27	個人	個人住宅	199.44	70	本調査	5月9日	小穴	
2 四ツ木遺跡	曾根崎町1329-11	個人	個人住宅	193.30	14	確認調査	6月6日	土坑	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
3 今泉遺跡	今泉町2624-9	民間事業者	有無の照会	481.96	43	試掘調査	5月22日	住居跡	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
4 養父遺跡	養父町408	個人	個人住宅	63.34	12	確認調査	5月30日	土坑	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
5 外精遺跡	轟木町1895-3他2筆	民間事業者	有無の照会	1,072.00	51	試掘調査	6月7日	井戸跡	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
6 今泉遺跡	今泉町2206-3他2筆	民間事業者	有無の照会	605.21	45	試掘調査	6月14日	溝	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
7 今泉遺跡	今泉町2619-1	民間事業者	建売住宅	444.00	24	確認調査	8月1日	溝、小穴	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
8 田代代官所跡	田代上町301-1	鳥栖市	有無の照会	200.00	22	試掘調査	7月26日	瓦出土	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
9 藤木遺跡	藤木町1223-1,1223-2	個人	有無の照会	470.18	55	試掘調査	11月8日	甕棺	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事
10 村田三本松遺跡	村田町字三本松149-6	個人	個人住宅	224.01		確認調査	1月21日	甕棺	遺構に影響を及ぼさないため、慎重工事

令和6年度市内確認調査位置図

野市

那珂川町

基山町



立石開拓古墳群(令和6年度調査区)

- 【所在地】立石町字吉原 【遺跡の時代】古墳時代
【種類】墳墓 【調査面積】約4,200 m²
【調査の期間】令和6年4月1日～3月21日
【調査主体】鳥栖市教育委員会 【調査原因】次期リサイクル施設整備
【調査の概要】

立石開拓古墳群は鳥栖市立石町字吉原に所在する。周辺では平成2年に、南に隣接する立石山田遺跡で20基の古墳を調査している。

令和6年度調査区では、7基の古墳を確認した。開拓の影響により、1基を除き石室、墳丘の一部のみ残存するのみであった。古墳はすべて横穴式石室を内部主体とし、南東方向に入口を設けている。造営時期は石室構造および出土遺物から7世紀頃と考えられる。また、調査区を南北に縦断する谷が確認された。谷の埋土より縄文土器と石器が確認されたことと、一部の古墳が谷埋土の上に造営されていることから、縄文時代から古墳時代の間に埋没したものと考えられる。

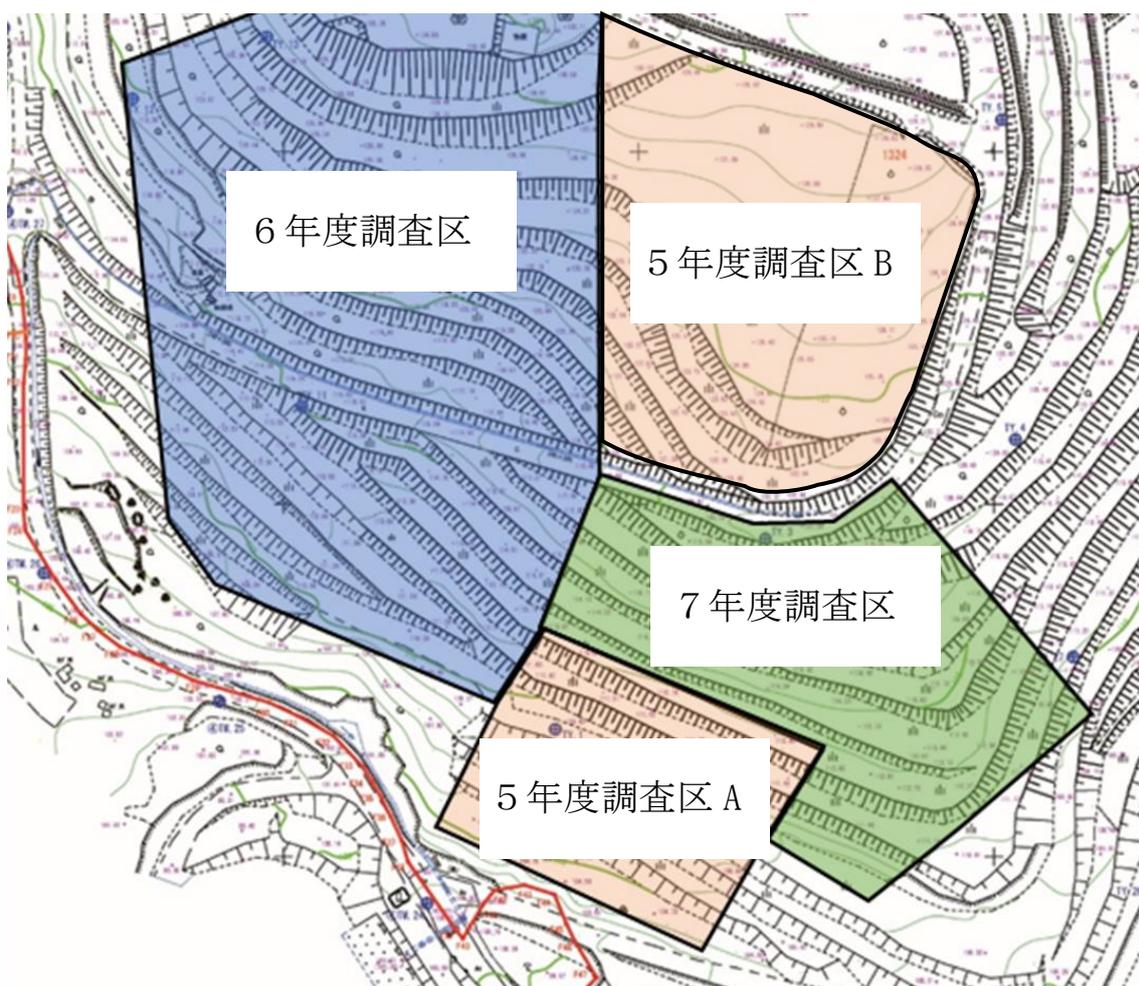


図1 調査区配置図

史跡勝尾城筑紫氏遺跡（筑紫氏館跡地区）の流水量等の調査について

（1）調査に至る経緯

平成30年以降、毎年のように降る豪雨によって筑紫氏館跡地区がき損している。今後の大雨によっては館内部の遺構が損壊する可能性があり、防災対策を講じるための基礎データ収集する調査を実施した。

（2）調査の概要

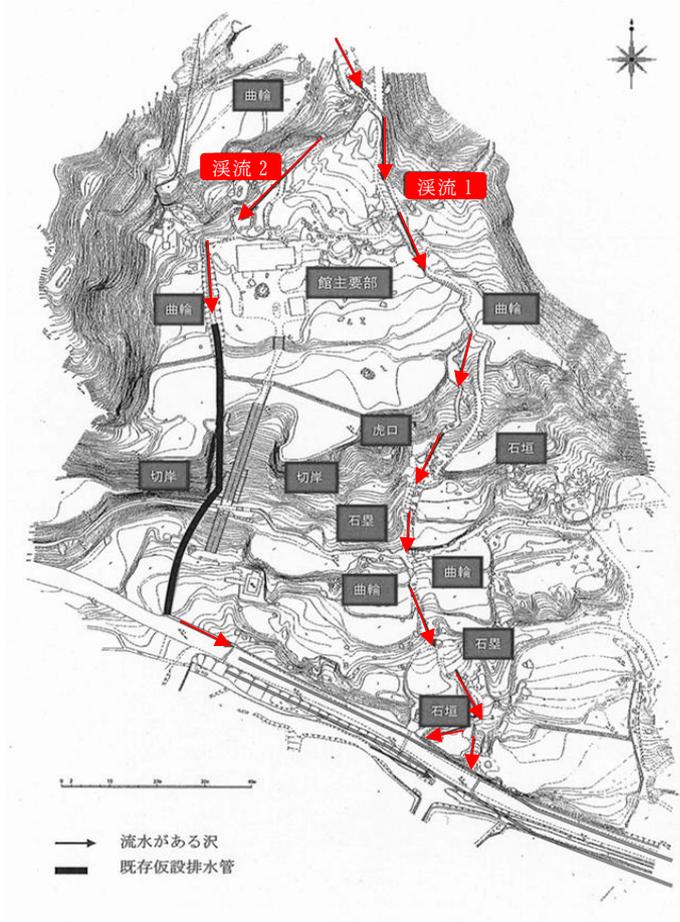
- 勝尾城から筑紫氏館跡にかけての降雨時の溪流（沢）の流水量測定。
- 周辺地形と地質状況及び降雨時の沈砂池や排水流末の状況の把握。
- 過去の降水量調査を把握。

（3）調査の所見

- 調査では上流域の勝尾城から下流域の館跡の区間の地盤は概ね安定しており崩壊するような危険な斜面は認められなかった。
- 1日に100mm(30mm/h)の降雨時には溪流路から10～20%の水量が氾濫している。
- 館跡に堆積する土砂は溪流と登山道から運搬されている。
- 大雨時(50mm/h)の水量に対して、溪流路や既存側溝の排水処理能力が少ない。

（4）今後の進め方

今回の流水量等調査の結果を基に、令和7年度から勝尾城筑紫氏遺跡保存整備委員会で筑紫氏館跡地区の浸食防止する施設や流下能力を向上する施設等の対策工の検討を進めていく。



2. 令和7年度事業計画

7年度事業

(1)調査

- ①市内各地に分布している埋蔵文化財について、開発に際し事前の確認・試掘調査を実施して開発との調整を図り、その保護に努める。
- ③開発に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施する。7年度は立石開拓古墳群(現場工期：～9月末 整理作業：10月～)を行う。
- ④文化資源充実事業について、調査や資料の収集を行う。

(2)保護・管理

- ①文化財の保存管理について、国・県・市指定文化財を中心に史跡・民俗芸能等に対し、所有者や地元団体に委託あるいは補助金の交付を行うとともに、必要に応じて助言を行い、これらの保存に努める。
- ②史跡等の保全管理について、下草刈りや雑木の伐採、あるいは案内板の点検等を適時行い、見学者の利便を図る。
- ③コミュニティ助成事業を活用した四阿屋神社の御田舞(蔵上町)の衣装の新調と道具修繕についての支援を行う。

(3)普及・啓発

- ①鳥栖歴史文化交流展示室の開館1周年記念イベントを実施するほか、サンメッセ1階ホールにて企画展を行うなど展示室の情報発信を行う。
- ②鳥栖市立図書館において勝尾城筑紫氏遺跡の常設展示を行う。
- ③市民を対象にした「鳥栖のまちづくりと歴史・文化講座」「郷土資料講座」を開講する。歴史・文化講座は「鳥栖の集落と交通」をテーマに全7回の座学や現地見学を行う。郷土資料講座は市内の古文書を教材として、第2・第4土曜日に初心者コースを開講する。

- ④歴史と文化財を活用したまちづくりを目指して、市民と協働した「ふるさと元気塾」を開講し、ボランティアガイド育成に努める。

(4)勝尾城筑紫氏遺跡

- ①史跡整備基本計画の改定を行う。
- ②史跡整備基本計画に基づき、葛籠城跡地区の一部公有地化を行う。
- ③葛籠城跡地区、筑紫氏館跡地区などでの危険木の伐採や葛籠城跡地区の下草刈りなどの保全管理を行う。
- ④遺跡見学会を春(4月20日雨天中止)と秋(11月下旬)開催の予定
- ⑤市民活動団体九千部クラブと「県民参加の森林づくり事業-山城の森林づくり体験-」を3回、「さが緑の基金事業森林保全作業の安全講習-」を3回実施予定。

3. 新指定文化財候補について

① 下野老松神社の肥前狛犬

鳥栖に現存する狛犬で最も古いものは肥前狛犬で、17世紀末から18世紀初めごろに製作されている。

石材は阿吽形ともに安山岩で高さ、長さとも45cm前後、尾や肢は浮彫である。吽形には「元禄四」（1691年）銘がある。下野老松神社は佐賀藩領に所在する。

【所有・管理】 下野町区 【既報告の有無】 市誌5巻掲載

【保管状況】 社殿前屋外



② 轟木日子神社の肥前狛犬

石材は阿吽形とも安山岩で阿形は高さ、長さとも約54cm、吽形は高さ47cm、長さ58cmで尾や肢は浮彫で、頸部のくびれがはっきりしている。宝永□年（1704～11）銘がある。轟木日子神社は佐賀藩に所在する。

【所有・管理】 轟木町区 【既報告の有無】 市誌5巻掲載

【保管状況】 社殿内屋内



③ 鳥栖八坂神社の肥前狛犬

石材は阿吽形ともに安山岩で、高さ35cm前後、長さ約40cm、肢は彫り抜きである。本町八坂神社は対馬藩に所在する。

【所有・管理】 個人(宮司) 【既報告の有無】 市誌5巻掲載

【保管状況】 社殿内屋内



④ 轟木日子神社の肥前鳥居

石材は凝灰岩で高さ370cm、幅455cm、柱間270cm。両柱・貫は3継で笠木と鳥木は一体で2本継である柱根は亀腹を造り出して埋め込んでいる。

【所有・管理】 轟木町区 【既報告の有無】 市誌5巻掲載

⑥ 伝田代代官所通用門（津田家）

田代代官所通用門だったものを現在地（津田家）に移築したものと伝えられる。屋根の破風には宗家の「四ツ目結」が残る。

【所有・管理】個人

【既報告の有無】市誌研究編第6集掲載



⑥ 神辺の獅子舞

市内神辺町区に伝えられる幟旗より寛政元年（1789年）に始められたとわかる獅子舞。神辺老松神社に3年毎の4月第2日曜日に奉納されている。2人1組で演じる2頭の獅子が、獅子釣りに操られるように雄獅子、雌獅子、つり合い獅子の順で舞う、鳥栖地域に伝わる特徴的な獅子舞の1つである。

【所有・管理】神辺町区【既報告の有無】市誌5巻掲載



⑦ 門司家文書

田代代官所の手代で、明治期には宗家の財産を管理した広及舎の社員を務めた門司家に残るものである。鳥栖市誌編纂時に目録を作成している。

代官所関係などの古文書552点、漢籍、俳諧関係の書籍514点である。

【所有・管理】鳥栖市教育委員会

【既報告の有無】市誌3巻掲載



⑧ 佐賀の乱使用ライフル及び銃弾

市内古賀町の旧家に保管されていたもの。旧佐賀藩士が佐賀の乱で使用したライフルでシャープスM1863カービン銃とされる。銃弾は大正年間に朝日山の南側で発見されたものである。

【所有・管理】鳥栖市教育委員会

【既報告の有無】市誌4巻掲載



⑨蔵上遺跡出土墨書土器

蔵上町に所在地する蔵上遺跡の発掘調査の際、8世紀の墨書土器が計5点出土している。その中に郡家を構成する施設を示す「厨番」と墨書きされた土器が含まれることから、養父郡家の所在がほぼ確実となったことを示す資料。

【所有・管理】鳥栖市教育委員会

【既報告の有無】市第60集掲載



⑩岡寺古墳出土埴輪

岡寺古墳は、田代本町に所在する6世紀中ごろに築造された前方後円墳である。円筒埴輪・朝顔形埴輪のほかに、墳丘くびれ部から巫女・武人・馬・猪・水鳥・鶏・盾・家形埴輪が出土している。円筒埴輪の製作技法は八女古墳群、規格は野津古墳群（八代海沿岸）の特徴を合わせもっていることから、両地域の鳥栖への関心の高さを示す資料である。

【所有・管理】鳥栖市教育委員会

【既報告の有無】市第21集・市第95集掲載



⑪牛原前田遺跡出土水晶玉

牛原町に所在する牛原前田遺跡で確認された6世紀末から7世紀前半の円墳の横穴式石室内より出土している。山陰系の水晶製切子玉のみで構成された「連」である。特定の石材（もしくは形態）、または産地でまとめた限定的な出土状況が特徴的な資料である。

【所有・管理】鳥栖市教育委員会

【既報告の有無】市48集(図版掲載のみ)



⑫牛原前田遺跡出土曾畑式土器

牛原町に所在する牛原前田遺跡で出土した縄文前期の深鉢。九州全域と沖縄にかけて広く分布する土器で、鳥栖地域の人々の交流が広域にわたっていたことを示す資料である。

【所有・管理】鳥栖市教育委員会

【既報告の有無】未報告

